

看取りを専門とするクリニックにおける精油使用施術実施集計報告

○新藤哲¹⁾ 針生美香¹⁾ 田中真紀¹⁾ 阿曾沼和佳子¹⁾ 和泉尚子¹⁾ 平冬子²⁾

1)たんぼぼクリニック 2)仙台市救急医療事業団

【目的】

当院は有床診療所として、入院・外来・在宅で緩和医療を提供している施設である。2006年4月に開院し、同年10月より代替医療の一環として精油使用施術を提供している。2009年2月に日本緩和医療学会により発行された「がん補完代替医療ガイドライン」によると、「アロマセラピー、マッサージ」は、ガイドラインが作成された代替医療の中で唯一、推奨グレード(AHCPR)として「B：行うよう勧められる」と評価される内容を含んでおり、がんの終末期の患者が多い当院において、精油使用施術はがん患者の身体的、心理的症狀を改善する意味でも重要であると考えられる。当院における精油使用施術の実施内容について実態調査し、その内容を明らかにすることにより、今後、精油使用施術を生かしたより良い医療と看護の提供ができるための基礎とすることを目的とする。

【対象・方法】

2006年10月から2009年5月までの2年8ヶ月の間、当院において医療を提供した患者、又はその家族で、精油使用施術を希望し、主治医の指示、許可が得られた者を対象とした。本人、又は家族の同意を得て行なった。精油使用施術を施行した対象者を「入院・外来・在宅患者、家族別」「在院日数」「年齢構成」「性別」「疾病」「施術部位」「使用精油」「使用植物油」について分類した。当院において、精油は18種類(SANOFLORE,VIE D'AROME,生活の木)を使用している。植物油は、スウィートアーモンド油、ホホバ油(共にSANOFLORE)を使用している。希釈濃度は1%以下、施術時間は30分前後としている。

【結果・考察】

精油施行施術を施行した延べ人数は336人であり、入院患者313人、外来患者2人、在宅患者4人、入院患者の家族が17人であった。平均在院日数は54.2日。平均年齢は70.3歳。性別では男性139人、女性197人。疾病別では、非がん患者が51人、がん患者が268人、がん患者の内94人が肺癌であり、呼吸器内科である当院の特性を反映していたと考えられる。施術部位は下肢、背部、上肢の順に多かった。精油は、真正ラベンダー(*Lavandula Angustifolia*)、オレンジ・スウィート(*Citrus Sinensis*)、柚子(*Sitrus Junos*)の順に使用頻度が多く、使用植物油はスウィートアーモンド油が293人、ホホバ油が43人であった。今回の集計外で、精油の使用を希望しなかった患者が30人おり、終末期で、香りを敬遠する側面もあるのではないかと考えられる。今後は研究データとしての整備を整え、病期に応じた精油の好みの変化、精油使用施術の効果について、課題としていきたい。